

ミヤマカラスアゲハ
とくちよう新聞

9月11日発行
編者の備

ミヤマカラスアゲハのひみつ

青緑にかがやくうつくしいアゲハチョウ。
カラスアゲハにして、色がより色あいがあざ
やがでうつくしく、前はねの表面に白っぽく
かがやく糸が入っていること、後はねのうら面に
白い筋があることを見分けられる。
山地の緑深い山おくのけいりうたいはじ
で見られるアサミの花でさうすつしたり、
地面でさうすつしていることも多い。



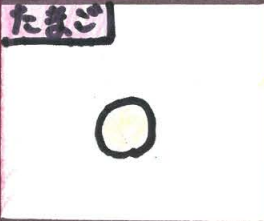
えさや食物

幼虫はミカン科の
ラスガンシヨウキバダ
ほどの葉を食する
せいでツツジの花の
クサギのいぼ花の
汁をすう。

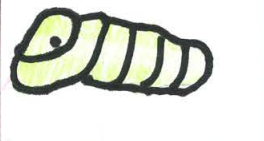
せいそく地

北海道から九州の中
に分布する
山地のせりりんたい
に分布する
まいたがしまは平地
や海岸に多く生える

方ち育



虫幼



虫成



虫成



体のつくり

幼虫はからだの体の中にあり、
おとわくのようにはなつて
だし、いしうをばはつて
ちようはよう虫時にはたか
で体をたかえるおびちようで
ある。



へん集後記

ミヤマカラスアゲハについて言
べておるとこま
かい体のつくりや
ひつがしれて
びくくりしまし